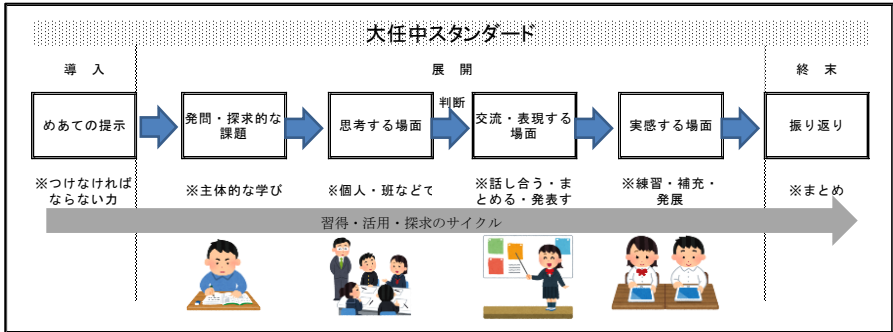


※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、上下左右の余白は変更しないでください。
※各項目の枠の幅は変更可能ですが、必ず A3 用紙片面におさまるように作成してください。
※画像、写真、イラスト等は、用紙の中におさまるようにし、ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

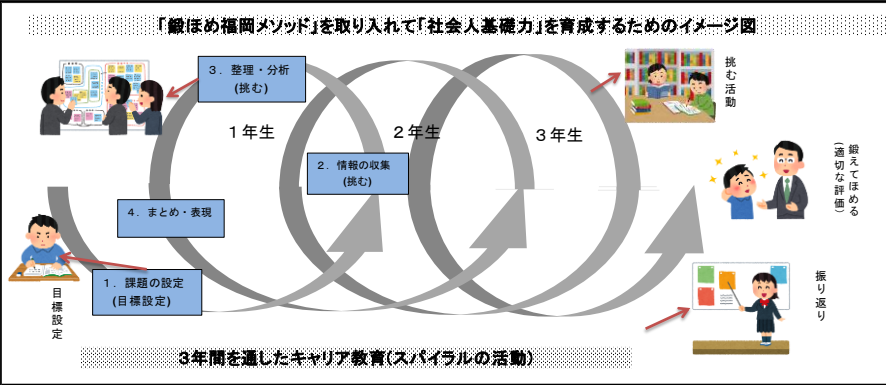
【様式 2】

研修成果の活用レポート/NITS 大賞エントリーシート	※事務局記入欄
※研修成果の活用レポートは、NITS 大賞エントリーシートと同様式です。NITS 大賞に応募される方は、推薦者への提出とは別に、< award@ml.nits.go.jp >宛て、メールにてお送りください。なお、メール送信後、3 日以上受領メールが届かない場合はご連絡ください。	受理No. : A-24
【学校名・氏名】 大任町立大任中学校 安藤 志保美	【応募部門】 カリキュラムマネジメント 実践部門
【修了研修名】 平成 3 0 年度 教職員等中央研修（第 1 回校長研修）	
【活動名】 人間力を高める教育活動 指導体制マネジメントの改善	
解決すべき課題 Society5.0 社会に突入して、社会が大きく変化している中、子ども達が培うべき力も変化している。これから社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための力(人間力)を高める必要がある。この力を高めるのは、本町の長期教育計画である「大任町の子どもが 30 歳になった時に精神的にも経済的にも自立した大人になるための 10 年計画」と合致する。 そこで、子ども達に変化の激しい将来に向かって「自立・協働・創造」できる力を育成するためには「人間力」を高める教育活動を進めていく必要がある。 校長としてカリキュラムマネジメントを推進していく事で、教職員の指導体制を改善できると考えた。	
目標・方針 1 「主体的・対話的で深い学び」の実践と、授業改善のための徹底反復による基礎学力の定着及び、それを補助する ICT を活用した教育活動の実践 2 「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた教育活動の推進と「社会人基礎力」を育成するためのキャリア教育の推進 3 自分を客観的に見つめ、振り返る(メタ認知)事ができ、より良い生き方を考える豊かな心の育成 この 3 つの柱を中心に教育活動を推進した。	
活動内容 【目標 1 に関して】 ・各教科 4 月の学力診断テストの偏差値を、三学期までに 1 ポイント以上向上させるよう指示した。加えて授業における「大任中スタンダード」を徹底させた。 「大任中スタンダード」とは～導入において「めあて」の提示でつけなければいけない力を示す。次に展開場面においては、発問や探究的な課題を生徒自らが見つけ出し、その課題に対して思考・判断・表現する場面をつくる。その後、繰り返し練習を行わせ、補充・発展させて実感する場面をつくる。最後に終末で振り返る活動を行わせるといった形式を全教科で実践させる。研究主任に指示を行い、本校の学力向上プラン及び校内研修においてその実践を行った。 また全国学テや県学力実態調査の結果を分析する時間の確保と、定期考査の問題の工夫を行った。	



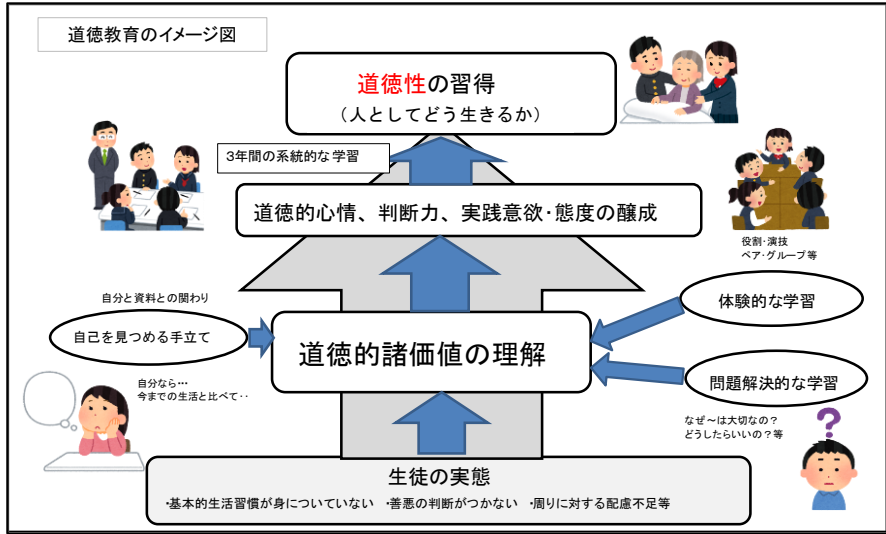
【目標 2 に関して】

「社会人基礎力」を育成するために、総合的な時間・特別活動において「課題の設定(目標設定の活動)→情報の分析(挑む活動)→整理・分析(挑む活動)→まとめ・表現(振り返る活動)」という問題解決的な学習が発展的に繰り返されていく活動を、3 年間連続して行っている。その際、課題を見つけ挑戦していく「鍛ほめ福岡メソッド」との組み合わせによって、日々の生活から自分自身の将来像を結びつけさせ、キャリア教育で育成すべき基礎的・汎用的能力を身に付けさせるようにした。



【目標 3 に対して】

生徒の道徳性を身につけさせるために、3 年間を見越して道徳の時間及び全教育活動において系統的な指導を図った。具体的には「自己を見つめる場面の設定」「問題解決的な学習」「体験的な学習」を仕組んで、道徳教育推進教員を中心に系統的な学習を推進していった。更にその際、道徳教育の全体計画の別葉として、内容項目の教科を横断した一覧表を作成し、それに則った取組を行った。



活動の成果： ※それによって、どんな成果が得られましたか？

- ・学習指導については「大任中スタンダード」を意識した授業づくりができた。校内研修会でもこの一連の流れに沿って、どのように授業改善ができたのか見通しを以て話し合いができた。
- ・総合的な学習の時間や特別活動に関しては、系統性を持って（この活動について培うべき力）活動提案ができた。
- ・道徳教育については、特に自己を見つめる場面を活動の中に仕組むようになった。また、多くの場面で教科横断的な取組も行われるようになってきた。

アピールポイント（アイディアや工夫）：

- ・教育指導計画作成前に「学校経営要綱」として、来年度の構想を提示した。これによって方針に沿った教育課程を編成できた。
- ・図式化する事で、職員は具体的なイメージを持って活動の提案や編成ができた。